

秘

整理番号

繊維ファッション産業向け IT ソリューション (IT マップ) 調査

平成 18 年 8 月 31 日 (木) までにご投函下さい。

注意事項

本調査は、SCM ならびに業務効率化のための IT ソリューションを一覧できる「繊維ファッション SCM-IT マップ」を作成するための情報収集を目的としており、2003 年、2004 年に引き続き実施するものです。

SCM-IT マップは、繊維産業各社に広く公開し、今後、繊維事業者と IT ソリューションベンダーが協働して情報化推進を進めていただくための環境整備に活用する予定です。

貴社が、当用紙に記入されております製品以外に、今回の調査目的に合った IT ソリューションをお持ちであれば、お手数ではございますが、当用紙をコピーしアンケートにお答え頂ければ幸いです。

ソリューションスイートについては、各社のご希望によりスイート全体またはコンポーネント単位のいずれかでお答えください。

パンフレット等の営業資料で付加できる情報がある場合は、営業資料を送付してください。

【実施主体】

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

【本件に関する問い合わせ先】

(株)野村総合研究所 ビジネスイノベーション事業部 森田、伊藤

Tel : 03-5533-2073

E-mail : fashion-eng@nri.co.jp

アンケート趣旨

当アンケートでは、繊維産業向けに提供されている IT ソリューションについて、対応している業務プロセス・業界標準・取引モデル等を詳しく調査させていただきます。調査結果は、繊維産業各社に公表することにより、IT ソリューションベンダー各社が自社 IT ソリューションの情報をアピールする媒体として活用いただくとともに、繊維産業各社が自社の IT ソリューション導入ニーズに応じた IT ソリューションの検索コストを低減させ、繊維産業における情報化推進を図ります。

このような目的に基づき、本調査は下記のような質問で構成しております。

アンケート構成

- 問 1 . 貴社業務概要
- 問 2 . 貴社ソリューション概要
- 問 3 . 「TA プロジェクト取引ガイドライン」への対応状況
- 問 4 . 「コラボレーション取引」への対応状況
- 問 5 . EDI への対応状況
- 問 6 . CPFR への対応状況
- 問 7 . GDS への対応状況

1. はじめに御社のことについてお伺いします

問1 - 1 貴社名		
問1 - 2 所在地		〒 - 電話 - -
問1 - 3 ご担当者 (記入者)	氏名	
	部署・役職	
問1 - 4 提供形態(複数回答可)		1. パッケージ(個別カスタマイズ非対応) 2. パッケージ(個別カスタマイズ対応) 3. スクラッチ(案件別の開発) 4. ASP 5. その他(具体的に:)
問1 - 5 業務ソフトの提供分野 (複数回答可)		1. 経理・財務ソフト(会計ソフト) 2. 人事・労務ソフト(給与計算ソフト) 3. 生産管理ソフト 4. 販売管理ソフト 5. 仕入管理ソフト 6. 在庫管理ソフト 7. 物流管理ソフト 8. 商品企画・設計ソフト(CAD・CAM含む) 9. 統合業務ソフト 10. その他(具体的に:)
問1 - 6 繊維産業へのソリューション導入実績(過去3年間)		約_____社
問1 - 7 企業間取引モデルに関するソフトウェアの提供を行っていますか(EDI含む)		1. はい 2. いいえ

2. 貴社ソリューションの特徴についてお伺いします

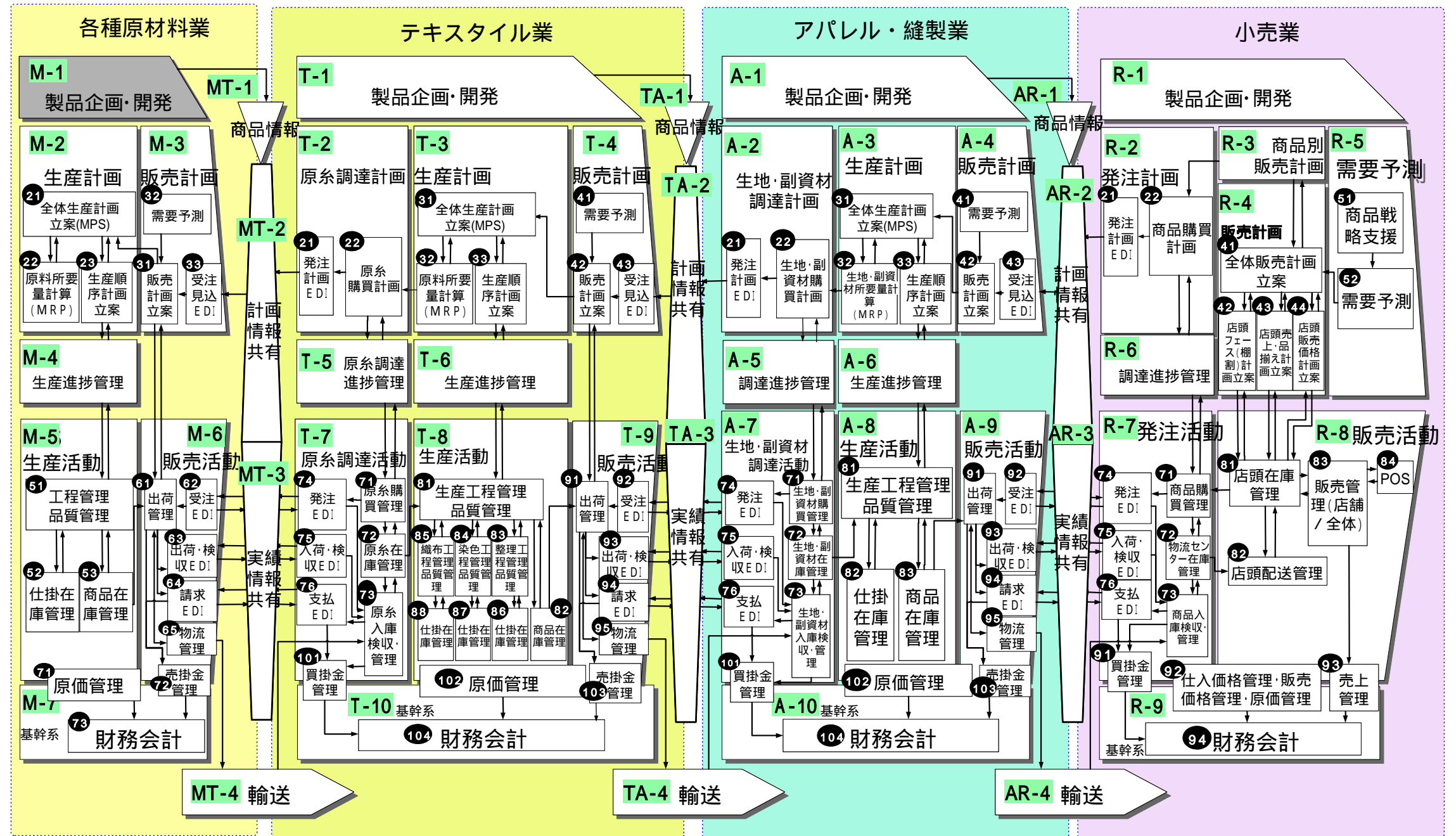
(複数ある場合は、本ページと次ページをコピーし複数回答いただければ幸いです)

問2 - 1	製品名	
問2 - 2	製品紹介の Web ページ	http://
問2 - 3	繊維産業への国内導入実績	通算：_____社 (05年度：_____社 04年度：_____社 03年度：_____社)
問2 - 4	ターゲット企業業種 (複数回答可)	1. 各種原材料業 5. 小売 (チェーンストア) 2. テキスタイル 6. 小売 (専門店) 3. アパレル 7. その他 (具体的に： _____) 4. 小売 (百貨店)
問2 - 5	ターゲット企業年商 (複数回答可)	1. 1億円未満 4. 100～1000億円未満 2. 1～10億円未満 5. 1000億円超 3. 10～100億円未満 上記で選んだもののうち、最重要ターゲット層は _____ (一つ番号で選択)
問2 - 6	製品のユーザー数上限	1. ～9人 4. 100人～ 2. 10～49人 5. 限定なし 3. 50～99人
問2 - 7	商品の管理規模 (管理単位)	数量： _____ 1. SKU 4. その他 (具体的に： _____) 2. 型番 5. 限定なし 3. アイテム
問2 - 8	製品の提供形態	1. パッケージ製品として提供 (そのまま使用できることを前提) 2. パッケージ製品として提供 (カスタマイズが前提) 3. ASP (Application Service Provider)サービスとして提供 4. その他 (具体的に： _____)
問2 - 9	サーバー動作 OS (複数回答可)	1. Windows (バージョン： _____) 2. Mac OS (バージョン： _____) 3. UNIX/LINUX (種類： _____) 4. ホスト機専用 OS (_____) 5. その他 (具体的に： _____)
問2 - 10	クライアント動作 OS (複数回答可)	1. Windows (バージョン： _____) 2. Mac OS (バージョン： _____) 3. UNIX/LINUX (種類： _____) 4. ホスト機専用 OS (_____) 5. その他 (具体的に： _____)

問 2 - 11 モバイル環境	1 . あり (ハードの種類 = _____、OS 種類 = _____) 2 . なし
問 2 - 12 ネットワーク対応	1 . あり (右の該当するものに LAN / WAN / インターネット) 2 . なし
問 2 - 13 業界標準への対応 (複数回答可)	1 . JAIC 固定長メッセージ 2 . JEDICOS 3 . EDIFACT 4 . 繊維産業標準 EDI メッセージ (バージョン) 5 . その他のメッセージ (具体的に :) 6 . JAN コード 7 . その他の商品コード (具体的に :) 8 . QR-XML 標準 9 . CollaboAgent (新 QR コードセンター) 10 . その他 (具体的に :)
問 2 - 14 相談を受けてから実稼 動するまでの期間	およそ _____ ヶ月
問 2 - 15 必要なコスト 【想定条件例】 売上 : 1000 億円 ユーザー数 : 50 管理 SKU 数 : 数十万 IT ソリューションの全機能を導入	【想定条件】 ・ 売 上 : _____ ・ ユーザー数 : _____ ・ 管理 SKU 数 : _____ ・ 導入 IT ソリューション機能範囲 : 全体の _____ % の機能の導入 【必要費用概算】 標準的な初期導入費 : _____ 万円 課金方式 : _____ 標準的な運用コスト : _____ 万円 / 月 課金方式 : _____ 標準的な保守コスト : _____ 万円 / 月 課金方式 : _____ 上記以外にかかる費用 : _____ 万円 (内容 : _____)
問 2 - 16 今後の機能拡張、バージョンアップの予定	

問2 - 17 ITソリューションが支援している業務範囲

貴社のITソリューションが機能として実現している業務範囲を下記のITマップに記入し、該当する番号をリストアップしてください



業務範囲の番号：(記入例：A-3 生産計画 (31,32,33) A-4 販売計画 (41,42,43))

問2 - 18 製品の機能のうち、マップに該当しない機能があれば記載してください

問 2 - 19 製品の特徴

(貴社製品の特徴をご記入ください。)

問 2 - 20 製品を用いた業務改革の実例(実績)

導入先企業 (可能ならば実名で)	導入時期	導入機能 (IT マップの業務モデル参照)	初期導入コスト (運用コスト)	導入効果
(記入例) A 社 (婦人アパレル)	'02 年 2 月 から '03 年 5 月	A-3 生産計画(31,32,33) A-4 販売計画(41,42,43)	5,000 万円 (年間 500 万円)	在庫削減(1 億円) 販売機会損失の減少

3. と 4. では、問 1 - 7 (取引モデルに関連するソフトウェア提供の有無)で「1. はい」(提供している)とお答えになった方に、繊維産業の取引/業務モデルのあるべき姿としての TA プロジェクト取引ガイドライン・コラボレーション取引への対応状況についてお伺いします

3. 生地・副資材・ニットにおける資材・製品売買の取引/業務モデルの改善方策として、繊維産業流通構造改革推進協議会が事務局となり、TA プロジェクト取引ガイドラインが策定されております。この TA プロジェクト取引ガイドラインについてお伺いします

問 3 - 1 TA プロジェクト取引ガイドラインがどのようなものかご存知ですか

- 1. 知っている
- 2. 知らない → 問 4 へお進みください

(問 3 - 1 で「1」とお答えの方)

問 3 - 2 貴社のソフトウェアは TA プロジェクト取引ガイドラインに対応した取引モデル・ビジネスフローの実現に対応可能でしょうか

- 1. 対応可能である → 問 4 へお進みください
- 2. 対応するための開発を実施中である → 問 4 へお進みください
- 3. 対応を実施するか否か検討中である
- 4. 当面、対応する予定はない

(問 3 - 2 で「3」または「4」とお答えの方)

問 3 - 3 TA プロジェクト取引ガイドラインへの対応が積極的ではない理由についてお伺いします
(複数回答可)

- 1. 使ってくれるユーザー企業がどの程度いるのかよくわからない
- 2. モデル自体の内容が理解できない
- 3. 開発対象部分がわからず、どのように対応(開発)すれば良いのかわからない
- 4. 開発コストが大きすぎて資金を自社で調達できない
- 5. その他(具体的に: _____)

4. 小売業・アパレルにおける製品売買の取引／業務モデルの改善方策として、(社)日本アパレル産業協会と百貨店協会が共同で定めたコラボレーション取引が策定されております。このコラボレーション取引についてお伺いします

問4 - 1 コラボレーション取引がどのようなものかご存知ですか

1. 知っている
2. 知らない——▶ 問5へお進みください

(問4 - 1で「1」とお答えの方)

問4 - 2 貴社のソフトウェアはコラボレーション取引に対応した取引モデル・ビジネスフローの実現に対応可能でしょうか

1. 対応可能である ——▶ 問5へお進みください
2. 対応するための開発を実施中である ——▶ 問5へお進みください
3. 対応を実施するか否か検討中である
4. 当面、対応する予定はない

(問4 - 2で「3」または「4」とお答えの方)

問4 - 3 コラボレーション取引への対応が積極的ではない理由についてお伺いします(複数回答可)

1. 使ってくれるユーザー企業がどの程度いるのかよくわからない
2. モデル自体の内容が理解できない
3. 開発対象部分がわからず、どのように対応(開発)すれば良いのかわからない
4. 開発コストが大きすぎて資金を自社で調達できない
5. その他(具体的に: _____)

5. では、企業間での情報のやりとりを支える技術である EDI への対応状況についてお伺いします

5. EDI についてお伺いします

問5 - 1 貴社のソフトウェアは EDI 標準に対応していますか

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 対応している / 対応中である | |
| 2. 対応していない | → 問5 - 5 へお進みください |
| 3. そもそも企業間取引に直接関係するソフトウェアは提供していない | → 問5 - 5 へお進みください |

(問5 - 1 で「1」とお答えの方)

問5 - 2 対応している EDI 標準を記載してください

問5 - 3 受発注以外の EDI への対応状況についてお伺いいたします。対応している情報内容を選択してください(複数回答可)

- | | |
|--|-----------------|
| 1. 受発注情報(受発注伝票の電子化)以外に関しては、EDI 対応していない | ↓ |
| 2. 製品在庫 | 問5 - 4 へお進みください |
| 3. 販売実績 | |
| 4. 販売計画 | |
| 5. 生産進捗情報(仕掛かり在庫、仕上がり予定日等) | |
| 6. 生産計画 | |
| 7. 資材等調達計画 | |
| 8. 資材等の調達実績(資材在庫、資材到着予定日等) | |
| 9. その他(具体的に:) | |

→ 「2」～「9」とお答えの方は問6へお進みください

(問5 - 3で「1」とお答えの方)

問5 - 4 貴社の EDI ソフトウェアの対応が受発注だけに限定されている理由についてお伺いします (複数回答可)

1. ユーザーからニーズを聞いたことがない
2. 受発注以外の EDI について内容を理解できない
3. 開発対象部分がわからず、どのように対応 (開発) すれば良いのかわからない
4. 開発コストが大きすぎて資金を自社で調達できない
5. 使ってくれるユーザー企業がどの程度いるのかよくわからない
6. その他 (具体的に: _____)

————▶問6へお進みください

(問5 - 1で「2」または「3」とお答えの方)

問5 - 5 貴社の EDI への対応が積極的ではない理由についてお伺いします (複数回答可)

1. 使ってくれるユーザー企業がどの程度いるのかよくわからない
2. モデル自体の内容が理解できない
3. 開発対象部分がわからず、どのように対応 (開発) すれば良いのかわからない
4. 開発コストが大きすぎて資金を自社で調達できない
5. その他 (具体的に: _____)

6. と 7. では、問 1 - 7 (取引モデルに関連するソフトウェア提供の有無)で「1. はい」(提供している)とお答えになった方に、繊維産業の取引 / 業務モデルのあるべき姿を実現するために必要なアプリケーションとして CPFR、GDS への対応状況についてお伺いします

6. 需要の不確実性が存在することを前提とした協業モデルである CPFR についてお伺いします

問 6 - 1 CPFR がどのようなものかご存知ですか

1. 知っている
2. 知らない → 問 7 へお進みください

(問 6 - 1 で「1」とお答えの方)

問 6 - 2 貴社のソフトウェアは CPFR の取引モデル・ビジネスフローの実現に対応可能でしょうか

1. 対応可能である → 問 7 へお進みください
2. 対応するための開発を実施中である → 問 7 へお進みください
3. 対応を実施するか否か検討中である
4. 当面、対応する予定はない

(問 6 - 2 で「3」または「4」とお答えの方)

問 6 - 3 CPFR への対応が積極的ではない理由についてお伺いします (複数回答可)

1. 使ってくれるユーザー企業がどの程度いるのかよくわからない
2. モデル自体の内容が理解できない
3. 開発対象部分がわからず、どのように対応 (開発) すれば良いのかわからない
4. 開発コストが大きすぎて資金を自社で調達できない
5. その他 (具体的に: _____)

7. 2007年以降日本でも開始されるGDS¹（商品情報同期化）についてお伺いします

問7-1 GDSがどのようなものかご存知ですか

- 1. 知っている
- 2. 知らない——▶ 問8へお進みください

（問7-1で「1」とお答えの方）

問7-2 貴社のソフトウェアはGDSを利用した業務に対応可能でしょうか

- 1. 対応可能である——▶ 問8へお進みください
- 2. 対応するための開発を実施中である——▶ 問8へお進みください
- 3. 対応を実施するか否か検討中である
- 4. 当面、対応する予定はない

（問7-2で「3」または「4」とお答えの方）

問7-3 GDSへの対応が積極的ではない理由についてお伺いします（複数回答可）

- 1. 使ってくれるユーザー企業がどの程度いるのかよくわからない
- 2. モデル自体の内容が理解できない
- 3. 開発対象部分がわからず、どのように対応（開発）すれば良いのかわからない
- 4. 開発コストが大きすぎて資金を自社で調達できない
- 5. その他（具体的に： _____ ）

最後に今までの質問に関する部分やそれ以外の部分について、皆様のお考えをお伺いします

8. 最後に当機構についてお伺いします

問8-1 当中小機構繊維産業課では、繊維産業における情報化を促進するため、繊維業界における情報化の先進事例や導入に際しての問題等に関するセミナーの開催、情報化の普及促進に活用するテキストの開発などの事業を実施しています。今後、繊維産業における情報化推進の観点から当中小機構にどのような支援活動を望まれるかなど、ご意見を自由にお書き下さい（箇条書き）

¹ Global Data Synchronization の略。国・産業を超えて商品マスタに加えられる変更を反映したリアルタイムのマスタデータを常に手に入れることが出来る仕組み